

令和 6 年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

共生ホーム よかあんべ

始良市加治木町反土 2378

電話 0995-62-5820 fax0995-64-3888

<http://www.yokaanbe.com/>

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・・・・・（地②-1～6）

◆総括表

--

実施	令和7年 1月 9日 (19:00～20:30)
----	--------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

日 令和7年 2月 17日 (19:00~20:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・玉井・中村・エースター・黒田・中井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	2人	0人	12人

前回の改善計画	
<p>○その日初めて会ったご利用者へ、手を止めて、目を合わせ、自分の名前を名乗り、相手の名前を呼んで挨拶を交わす。</p> <p>○新しく利用されたご利用者へは、他のご利用者への紹介をおこなう。また、利用開始して2か月以内で全スタッフがご自宅へ訪問する。 ※集中努力実施期間：通年</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・出勤したらお一人お一人名前を呼んで、ご利用者に声をかけて挨拶をした。 ・利用開始後間もないご利用者へ不安がないように、こちらから声かけしたり、ご家族や趣味などの話を聴くようにした。 ・新規のご利用者宅への訪問はできないスタッフがいた。 	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	9	1	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	7	0	1	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	6	3	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・新規のご利用者に対して知らないことは自分から相手を知ろうとする行動ができた。また不安が取り除けるようにこまめな声かけ、他のご利用者への紹介ができている・相手の目を見ながら反応を確認しながらの挨拶ができた・業務開始時のご利用者への挨拶・通いのご利用者の来所時、帰宅時の玄関での挨拶 ・ご本人、ご家族双方の希望されることを言葉で聴くこと・ご家族への連絡もこまめにとること 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・入職したばかりで日々の業務の流れを把握することに精一杯であり、ご利用者の家族背景やご自宅の把握ができていない・ご利用者の隣に座ることができても忙しさがゆっくと会話ができない・自分から「訪問に行きます」という声かけができずご自宅への訪問支援ができていない・足を止めず動きながらの挨拶になっていた・スタッフと一緒に訪問する時間を調整できず、全スタッフがご自宅を訪問することができていない・ご利用者はスタッフの名前は分かっているだろうという思いがあり名乗っていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>○ご利用者と一緒に自己紹介カードを作成し、よかあんべ玄関(スタッフ紹介とイベント写真)とリビング(ご利用者・スタッフ紹介とイベント写真)に掲示する。カードを見ながら語り合う時間を持つことでよかあんべのスタッフ、ご利用者を知っていただきご利用者もご家族も地域の方も、楽しんで来所していただける環境づくりをする (旗振りチームメンバー：梶原・徳永・黒田)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 1月 9日 (19:00~20:30)
令和7年 2月 17日 (19:00~20:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・玉井・中村・エースター・黒田・中井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	5人	1人	12人

前回の改善計画

○それぞれのご利用者のお誕生日企画でその本人の「～したい」を計画・実施しスタッフも一緒に楽しむ。
 ・4月の職員会議でスタッフのチーム編成をし、担当ご利用者を決める。
 ・ご本人やご家族に、したいことや、行ってみたいところ、食べたいものなど、ご本人の叶えたいことを聞いてその方のためのお誕生日企画をする。 ※集中努力実施期間：通年

前回の改善計画に対する取組み結果

・職員会議でスタッフをチーム分けし担当のご利用者を決め、ご本人のしたいことや、行きたい場所、食べたいもの、会いたい人などを聞き、お誕生日企画をし実施できた。
 ・ご本人が言葉にできない時には表情から受け取ったり、「こういうことが喜ばれるかな」という発想で企画した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	4	8	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	6	6	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	9	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	4	7	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ご本人に行きたい場所や好きな食べ物を聞くこと・お誕生日企画の中でご利用者と一緒に外出すること
 ・お誕生日企画をご利用者本人と一緒に計画すること。実施できた時は全体 LINE での共有やご家族への報告・ご利用者のご自宅にある畑での野菜作り、収穫をご利用者と一緒に行うこと・ご自宅にいらっしゃる訪問中心のご利用者のお話をうかがうこと・実践者研修の職場実習の機会を使って、スタッフやご親戚と協力して、連泊になっているご利用者のご自宅に一時帰宅できた

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・自分から時間を作っておらず、ご利用者お一人お一人と腰を下ろしてゆっくりとお話をうかがうこと
 ・遠方にご家族が住んでおられると調整ができず、お誕生日企画をご家族も含めて実施すること・ケアプランに目を通していないためケアプランに沿ったケアができていない。実地指導で初めてケアプランに目を通したご利用者もいた・シフトの関係で時間を作れずチームメンバーでさえも企画の話し合いができない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○ご利用者の「～したいの実現」をするためにご利用者の隣に座り一緒にお茶を飲みながら会話をする時間をつくる。その手段としてご利用者がある時その時に飲みたいものを選択できる「セレクトカフェ」を15時のお茶の時間に実施する

(旗振りチームメンバー：原野・田中)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 1月 9日 (19:00~20:30)
令和 7年 2月 17日 (19:00~20:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・玉井・中村・エースター・黒田・中井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	7人	0人	1人	12人

前回の改善計画	
<p>○ご利用者の一日のスタートとなる起床後のケアを丁寧に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鏡でご自分の顔を見ていただき、髪の毛を整えたり顔を温かいタオルで顔を拭く。 ・ご本人が使用されていた化粧品などのお顔の手入れに使用する。 ・衣類の汚れやほつれ、ボタンのかけ違いなどを気にかけて気づいたときに気づいたスタッフが対処する。 <p>※集中努力実施期間：3月～9月</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・起床時に顔を拭いたり、髪を整えるなどのケア、衣類のほつれや乱れなどはよく気が付く職員とそうでない職員がいる。 ・肌の乾燥が強いご利用者へは化粧水や保湿剤などを使ってケアすることができていた。 	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	8	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	7	1	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	10	2	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	9	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	9	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・髪を櫛でとくしたり、タオルで顔を拭くなど、ご自分でできることはしていただいている。 ・服の乱れを気にかけるようになり直すようにした。顔のケアや身だしなみを整えることは起床時だけでなく、夜間帯でも気づいた時にできている。 ・ご本人の身体状況に合わせた食事、排泄の介助ができた。 ・泊りのご利用者だけでなく、在宅のご利用者にも必要な朝のケア（口腔ケア、更衣、髪を整えるなど）をすることができた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・洗面台の下に車椅子が入らないため、洗面所の鏡でご自分の顔を見ていただくことができなかった（手鏡を使うことはしなかった） ・ボタンがついていない衣類をそのままにしていた。時間を作らず後回しにしてしまっていた。 ・口腔ケアが疎かになっていた。特に感染症が拡大し個室隔離になった時にできていなかった 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>○一日のスタートとなる起床時のケアのなかで特に、目元の清潔保持・髪の毛を整える・衣類のしわを伸ばし整えることを全スタッフが実施する。</p> <p>○入浴は必要な方への浴室リフト使用が安全にでき、ご利用者の入浴が最低でも3日に1回のペースでできる。</p> <p>(旗振りチームメンバー：有菌・那須)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 1月 9日 (19:00~20:30)
令和 7年 2月 17日 (19:00~20:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・玉井・中村・エースター・黒田・中井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	4人	5人	1人	12人

前回の改善計画

○訪問支援が中心となっているご利用者の訪問や送迎を通して、その人が繋がっている人やサービスを知る。知り得た情報はB0システムの記録や個人ファイルに記録する。
・有事に協力がもらえる地域の友人、知人や自治会役員（自治会長・民生委員・福祉担当者など）
・自宅に出入りされている給食宅配や訪問リハビリなどのサービス提供機関
※集中努力実施期間：3月～9月

前回の改善計画に対する取組み結果

・主として訪問に出るスタッフが、ご自宅で生活されているご利用者の家に尋ねてきてくださる近所の方や近隣の関わりのある方と何気ない会話を続け、顔見知りになるようにつとめている。
・全スタッフがご自宅へ訪問することができておらず、ご利用者のご自宅の環境把握や関わりのある地域の方と直接関わることができていない。関係のある地域の方の顔すらわからない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5	5	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	4	2	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	6	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	5	4	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・訪問に出る機会がある時は事前に情報を確認し自分からその人を知ろうとしている・ご利用者のその日の体調やご様子で気になることは、給食配達スタッフやリハビリ担当者と情報共有できた・これまで自治会の役員さんと関わりがなかったスタッフも、自治会長さんのご自宅へ回覧板に回す機関紙をお願いに行くことで自治会長さんへ挨拶ができた・知り得た情報はブルーオーシャンシステムに「地域資源」と入力し後日検索しやすいようにした

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・よかあんべに来てくださる民生委員さん以外は自分から気に留めることもしていないため近隣の民生委員さんしか知らない・自分自身が直接関わらないため、ご本人とご家族や介護者、地域の方との関係性を把握すること・日々の訪問や送迎に全スタッフが行けるように調整していないため、訪問に行く機会の少ないスタッフが訪問支援に困ったり、不安を持ってしまっている

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○地域の方々によかあんべの味噌作りに参加していただき、ご利用者やスタッフが地域の方と交流ができる機会をつくる。春と秋に2回の味噌作りを実施し、できあがった味噌を使った豚汁をふるまう。運営推進会議のメンバーさんや回覧板を使って案内をする。
(旗振りチームメンバー：梶原・徳永・黒田)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 1月 9日 (19:00~20:30)
令和 7年 2月 17日 (19:00~20:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・玉井・中村・エースター・黒田・中井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	6人	5人	12人

前回の改善計画
○ご利用者の変化やニーズに気づき、その人のその時の状態に合わせた柔軟なケアを提供できるよう、毎週月曜日の14時から30分間のカンファレンスを実施する。 ・テーマは1ヶ月ごとに対象となるご利用者をあげる ・〇〇さんの現状を出し合う→1週間取り組むことやケアとしてやってはいけないこと(倫理に反するケア)を考え→実践してみてどうだったか経過を共有し→次に取り組むことを考えてさらに実践する、を繰り返す。 ※集中努力実施期間:3月~9月
前回の改善計画に対する取組み結果
・具体的にカンファレンスを実施する日や時間を決めていたが、取り組み開始後3か月ほどしか継続できなかった。カンファレンス実施日にスタッフの調整ができず、どうすれば実施できるかを検討していなかった。1か月ごとにテーマ、ご利用者を決めて取り組んでいくことを決めたが、実施したことの評価間まで至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	6	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	8	1	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	11	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	8	2	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ケアについての疑問点は他のスタッフに相談ができた・カンファレンスまでは実施できなかったが、朝礼、会議などで話し合いや情報共有ができている・カンファレンスはできなくても、ご利用者の変化やニーズに対しての話し合いや取り組みは日々のケアの中でできている・本人の変化に気づいた事や自分の考えを研修等を出し合い共有している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・毎週のカンファレンスの実施はできていない。30分間の時間であってもスタッフの人員的に調整が難しかった。実施できなかったときに「どうすれば実施できるか?」まで考えていない・カンファレンスの議題を自分から発信できていない・地域の資源に何があるか理解できていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○カンファレンスを月に2回(第1or第3の火曜or木曜のいずれか)実施する。日程は翌月の勤務表が出来上がったら旗振りチームメンバーで決定する。カンファレンスの対象となるご利用者は五十音順で順番に決め、ご本人の同席をしていただきご本人の声を聴く。カンファレンス終了時は参加して下さったご本人に感謝の言葉を伝える	(旗振りチームメンバー:有菌・那須)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 1月 9日 (19:00~20:30)
令和 7年 2月 17日 (19:00~20:30)

6. 連携・協働

メンバー 苮口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・玉井・中村・エースター・黒田・中井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	2人	3人	12人

前回の改善計画

○毎月の運営推進会議を池田ベースで開催し、スタッフ、ご利用者も一緒に参加する。
 ・U様は萩原地区にご自宅があり、ご主人やご友人も運営推進会議のメンバーさんであるため、一緒に参加ができるようにし、地域の方との交流の機会とする。
 ※集中努力実施期間：通年

前回の改善計画に対する取組み結果

・ご自宅が萩原自治会のU様とI様が運営推進会議に参加されご主人やご友人と顔を合わせることができている。また、よかあんべ付近で会議メンバーさんに会ったときには、U様・I様のご様子をお話している。
 ・地域の方と夕涼しい会を計画し、地域の方のたくさんのご協力のもと開催できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	3	2	5	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	1	9	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	4	3	5	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	5	5	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・運営推進会議を毎月池田ベースで開催・ご自宅が萩原自治会のご利用者を運営推進会議に参加できるように会議に合わせ準備しお連れしている・自治会長さん宅へ機関紙を届けたり、自治会の一斉清掃や公民館清掃に参加できた・池田ベースを毎日開放(7時~19時)し暖簾を出すことで、下校途中の学生さんがゆっくりくつろいだり、受験生が勉強をする空間になっている・今年度は班長業務を通して地域の方と会う機会が多かった

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・自分から興味を持って、始良市が主催する研修会や講演会などへの参加をしたり、他事業所へ足を運ぶことができていない・特定のスタッフだけでなく、全スタッフが運営推進会議に参加できるように調整できていない。会議日程を決めることが遅く勤務表を作成する時点で調整がついていない・地域に出るよりもよかあんべで過ごされるご利用者のケアに集中することが自分の役割と思っている部分があり運営推進会議に参加していない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○萩原自治会にご自宅があるU様とI様が前年度に引き続き、運営推進会議に参加できる。
 ○スタッフも一緒に運営推進会議に参加できるように勤務表作成時に担当スタッフを決める。そのためにできるだけ運営推進会議の時に翌月の日程を決定する。
 (旗振りチームメンバー：山田・中村・エースター)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 1月 9日 (19:00~20:30)
令和 7年 2月 17日 (19:00~20:30)

7. 運営

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・玉井・中村・エースター・黒田・中井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	2人	5人	2人	12人

前回の改善計画

○池田ベースを使って、地域の方も参加できる音楽セッション・岩城カレー振る舞い・ドライフラワーワークショップを定期的に開催する。
○地域の方や、異業種の方が池田ベースを活用していただけるようそれぞれのスタッフが働きかけ、池田ベースの使用方法についてわかりやすく掲示する。 ※集中努力実施期間：3月～9月

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・池田ベースでの音楽セッション、岩城カレー振る舞い、ワークショップを開催できた。
- ・池田ベースを7時から19時で開放し、冷暖房の使用、Wi-Fi環境が整っていることで、小中高生の利用が確実に増え、ほぼ毎日の利用がある。暗かったスペースにも照明を設置した。
- ・子供服のおゆずり会をしたい地域の方と話し合いを進め、おゆずりスペースがオープンした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	5	5	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	6	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4	3	3	12
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	2	6	2	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・入浴介助に入った時に、ご利用者のご意見や苦情を聴けるように信頼関係を作っている・夏の暑い期間は池田ベースを「涼み処」として冷房をつけて開放したことで、学生さんに利用を勧めた・音楽セッションや岩城カレーの振る舞いにスタッフとして参加した・池田ベースの開放を、雨が降るからと早めにシャッターを下ろすのではなく、雨宿りする地域の方がおられることをスタッフと共有し遅めにシャッターを下ろした・地域の方のギター練習、合唱の練習にも池田ベースを貸し出し、ご利用者も参加できた

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・勤務調整ができず、ワークショップへのスタッフ参加が特定のスタッフしかできていない・池田ベースでの地域の方との交流を自分ごととして考えることができず、行事参加ができていない・池田ベースの細かい使用方法や注意事項(開放時間、冷暖房や照明のON・OFF、ゴミの処理など)を掲示することができていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○よかあんべが主となる、池田ベースを活用した活動を行う(4月の職員会議で年間行事を計画する)
○池田ベースをいろいろな方に知っていただけるよう発信し続ける(SNSの活用・ホワイトボードを使って行事を掲示する・池田ベースの使用についてのお願いなどの掲示)

(旗振りチームメンバー：山田・中村・エースター)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 1月 9日 (19:00~20:30)
令和 7年 2月 17日 (19:00~20:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・玉井・中村・エースター・黒田・中井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	4人	0人	12人

前回の改善計画

○IDO オンライン研修法定研修は、毎月 20 日までに受講し、毎年の繰り返しの受講で学びを深める。
○IDO オンライン階層別研修は、それぞれ受講する研修が異なるため、受講した翌月の職員会議や職員研修で他のスタッフ向けに受講報告をする（資料のスライド 2~3 枚を抜粋して 5 分以内でまとめて報告をする）
※集中努力実施期間：通年

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・全スタッフの IDO オンライン法定研修の受講ができている。グループ LINE を使って受講のアナウンスをするスタッフがいることで、必ず当該月に受講できるようになっている。
- ・階層別研修の受講報告は、職員会議や研修の場で年度初めの数か月はできていたが、会議次第の中に組み込むことをしなかったため、継続ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	6	2	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	4	3	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	1	11	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	4	6	1	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・IDO オンライン研修では、毎月の法定研修、階層別研修を 2 か月に 1 回受講した。職員会議や研修の中で受講報告ができた・感染症対策や権利擁護研修など外部研修への参加をし、自職場での実習にスタッフと一緒に取り組むことができた・学生への講義や認知症サポーター養成講座の実施・能登半島地震の復興支援に行き、現状や支援の取り組みをスタッフに報告できた

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・「今月中に受講すればいいだろう」という甘い考えがあり、法定研修を当該月に受講することはできたが、20 日までに受講することができていない・階層別研修を受講するスタッフが多い月は、会議次第の中に受講報告の時間を組み込むことができず、受講報告ができないスタッフがいた・スキルアップに対しての意欲や向上心が持てず、自分自身のスキルアップのための研修には参加できていない・地域連絡会やリスクマネジメントの研修は担当スタッフが出るものという認識があり参加していない

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

○大きな事故を未然に防ぐためにヒヤリハット報告書をあげ、当事者だけが考えるのではなく、カンファレンスの時間にみんなで原因を深堀りする。
○IDO オンライン法定研修は全スタッフが毎月 20 日までに受講し、毎年の繰り返しの受講で学びを深める
(旗振りチームメンバー：原野・田中)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 1月 9日 (19:00~20:30)
令和 7年 2月 17日 (19:00~20:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・玉井・中村・エースター・黒田・中井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	5人	0人	12人

前回の改善計画

○1ヶ月同じご利用者を対象としてカンファレンスを実施。カンファレンスで決定することの中に、「やっ
てはいけないケア＝倫理に反するケア」を決めて、そのケアは全スタッフが行わない。
○食事介助・飲水介助・服薬介助は必ず腰を下ろして介助する。
※集中努力実施期間：3月～8月

前回の改善計画に対する取組み結果

・カンファレンスの開催が継続的にできず、倫理に反するケアを決めた後の評価ができていない。
・権利擁護推進員研修に参加したスタッフが中心になり、職場実習を計画しチームで取り組んだ。ご利用
者の環境から考える権利擁護をテーマとし、相手の立場に立つとはどういうことかを考えたり、ご利用者
の姿勢や介助を受ける側の体験をした。学び、課題を次年度の改善計画に活かす。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	5	0	0	12
②	虐待は行われていない	7	5	0	0	12
③	プライバシーが守られている	3	8	1	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	2	1	6	12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	7	3	0	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・食事、飲水、服薬の介助は必ず腰を下ろして介助できている。立ったまま介助しているスタッフに対しては椅子を持って行ったり、声かけをしている・権利擁護推進員研修への参加を通して、継続的にご利用者の権利についてチームで考えることができ、次年度の課題もみえてきた・脱衣所やトイレのドアを開ける時はロック、声かけをしてから開けること

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・意識ができていないのか、ドアやカーテンを開けたままケアを行っていることがあった。また排泄介助のあとにトイレのドアを開けたままにしていることが多い・してはいけないケアを朝礼や個別には話しているが、スタッフの不足を理由にしてカンファレンスを実施していない・声を出されることや言葉にされることが少ないご利用者の意思を確認しようとしていない、言葉が発せられることを待たずに、ただ声をかけるだけのことがある

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○相手の立場に立つということを常に考え続けるために、ご利用者やスタッフと話すときには手を止め足を止め、腰をおろして相手の言葉を待つ。その人の言葉で発せられるその人の想いを聴く。話をしてくださった相手には必ず「ありがとう」の感謝の言葉を伝える。
(旗振りチームメンバー：権利擁護推進員 荳口・那須)

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	10	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	8	0	2
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	10	0	0
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	10	0	0

【上記4つのチェック項目に関する意見】

- ・事業所一体となって課題に取り組んでいることがよくわかった。
- ・評価メンバーと集計の数が違っているが？→会議の場には技能実習生も参加しており、一緒に検討をしているが、個人の評価シートの記入はできていないため違いがでていると回答する

【前回の改善計画に対して意見】

- ・運営推進会議の場でサービス評価についての細かい説明があり、よくわかった。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

- ・池田ベースの活用については、社協としても「居場所づくり」という点で今後活用させていただきたい。空き家を開放している取り組みがいいと思います。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・評価の問いについては、何か決められた様式があるのか？→決められた様式がある

【改善計画】※後日記入

- 1～9の改善計画とA～Fの改善計画を一覧にして、運営推進会議で公表する。
- それぞれの改善計画の担当スタッフが運営推進会議に参加して、改善計画の進捗状況を会議メンバーに報告できる。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	9	0	1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	8	0	2
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	8	0	2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	9	0	1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	10	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・3B体操で月に1回はお邪魔しますが、気になる匂いなどはない。
- ・椅子の位置とかも変えたりしてますね。
- ・(運営推進会議を味噌作りの行事と重ねて実施したことで) よかあんべの中に入ってご利用者とお話できました。また来てもいいですか？

【前回の改善計画】

- 運営推進会議を毎月池田ベースで開催。
- 年1回事業所内に会議メンバーが入れる企画を検討実施。
- 防災訓練、運動教室、などは継続して事業所内に運営推進会議メンバーでもある地域の方が入れる機会にする。
- 床磨きなど日頃手がかけにくい場所は計画立てて実行する。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・子どもたちがよく池田ベースに来ていますね。子どもたちに何か回覧をしたことで増えたのでしょうか？(口コミですとの返答に) 自然に子どもたちが増えていってすごいことだと思う。

【今回の改善計画】※後日記入

- 事業所内に会議メンバーが入れる企画を検討実施。
- 防災訓練、運動教室などは継続して事業所内に運営推進会議メンバーでもある地域の方が入れる機会にする。
- 不快な臭いの発生源ともなりうるゴミの廃棄やトイレの掃除は、気づいたスタッフがその時に対応し、室内の換気はこまめに実施する。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	10	0	0
1	職員はあいさつできていますか？	10	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	9	0	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	9	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	10	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議に参加する職員の顔、名前はわかりますが、参加そうでない職員はわかりません。
- ・防災訓練に参加したが、何かあったときには炊き出し訓練を体験した私たちもお手伝いしたい。
- ・よかあんべには24時間スタッフもいるため、災害時の拠点になるのはいいですね。

【前回の改善計画】

- 今年には自治会班長の任務もあるので、班長としての役割と共に職員やご利用者が地域行事に参加できるようにする。
- 池田ベースにて、運営推進会議、ビューティフル作戦、ワークショップ、等、地域の方が気軽に有効に活用できる場所づくりを行う。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・地域の輪（和）が大きく広がっていると思います。これからもいろいろな行事に全員で取り組んでください。
- ・夏まつり（夕涼しい会）は人出も多く、特に子供たちがたくさんいることにびっくりしました。楽しい夜でした。今夏もよろしくお願いします。
- ・次の計画で、よかあんべの玄関にスタッフの写真を貼るとあったが、顔と名前がわかるのでぜひ見に行きたい。
- ・月に1回3B体操に来ますが、90代のご利用者から「今からでも筋力がつきますね？」とおっしゃられ、その言葉に感動します。

【改善計画】※後日記入

- 池田ベース入り口にはのれんを掲げ、夏は「涼み処」として地域の方が自由に出入りできるように開放する。
- 池田ベースで、毎月の運営推進会議、ワークショップ、音楽会など、よかあんべご利用者・スタッフと地域の方が一緒に楽しめる場づくりを行う。
- 夕涼み会、ビューティフル作戦が、地域の子どもから大人までが集うイベントとなるように、地域の方と一緒に計画・運営に取り組む。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	10	0	0
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	7	2	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	8	0	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	9	0	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	7	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・(よかあんべ庭であくまき作りをしているところを) 先日見かけましたよ。あくまき作りだったんですね。みなさんで作られたものを地域の私にまで届けていただきありがとうございます。

【前回の改善計画】

- 始良っ子見守り隊（スクールガード）は、ご利用者と共に交差点に立ち、子供たち、地域の方と挨拶を交わす。
- 地域の方が参加される池田ベースでの行事に、ご利用者と職員が一緒に参加する。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・民生委員をしているが、地域の方のお宅を訪問してから亡くなられたことを知った。家族も伏せていたいという思いがあられたようだ。コロナ禍から繋がりが薄くなり、地域の方へ広まることも減ってきた。自治会の班内でさえ知らないことも増えましたね。
- ・支え合いマップの講習会に参加した。支え合うことの学びになっている。

【改善計画】※後日記入

- 始良っ子見守り隊（スクールガード）は、ご利用者と共に交差点に立ち、子供たちや地域の方と挨拶を交わしながら、安全を守る。
- 地域の方が参加される池田ベースでの運営推進会議や行事に、ご利用者と職員が一緒に参加する。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	9	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	10	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	7	1	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	9	0	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	9	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・運営推進会議の場に、10分でもいいのでスタッフが入り自己紹介をしたり、一言をいただくとスタッフの顔も見えてくるなど感じた。

【前回の改善計画】

- 当会議に参加してくださるメンバーさんたちとテーマ共有するためにどのような議題設定ができるのか担当者と検討をする。
- ご利用者の住まいの担当民生委員さんにお声掛けすることができる。
- 夕涼み会、ビューティフル作戦の継続。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

・(運営推進会議資料より現状報告を見て) 要介護度が5の方が7名もいらっしゃるんですね。妻と同じくらいの方となると大変ですね。一人でも大変なのに、皆さんはどのような状態なのですか？→食事や排泄など生活のすべてにおいて介助が必要な状態の方もおられます。寝たきりではなく、日中はリクライニングの車椅子で過ごされます

【改善計画】※後日記入

- 運営推進会議に参加してくださるメンバーさんたちとテーマ共有するためにどのような議題設定ができるのか担当者と検討をする。
- 会議テーマに応じて、必要な地域の方や事業所等の参加を促す声かけができ、新たなつながりができる。
- 運営推進会議の場が夕涼み会、ビューティフル作戦の実行委員会の機能を持ち、イベントを継続できる。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	9	0	1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	7	0	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	8	0	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	10	0	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	9	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

（炊き出し訓練に参加して）

- ・初めて大きな釜を使って炊き出し訓練した。自治会でもまたできそうだなと思った。もしもの時は炊き出し訓練の体験をした私たちも手伝います。
- ・事業所の防災計画については、お話しの中では聞いているが具体的にどんなものかは見えていない。
- ・防災訓練への参加は2年に1回ぐらい参加している。

【前回の改善計画】

- 年間行事と合わせて防災計画を簡潔に伝える機会をつくる。
- 防災訓練には地域の方に参加をお願いすると共に、BCP（事業継続計画）も含めた避難訓練の企画を立案することができる。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・子どもたちと一緒に炊き出し訓練ができるとまた楽しそうですね。
- ・非常持ち出し袋（リュック）を持っている。定期的に期限が切れたものを交換もしている。レトルトカレーをリュックに入れておくといいですね。
- ・サイゼックスに米を詰める作業はみんなで楽しくできた。実際に災害が起こった時も笑いながらできるといいですね。温かいものを災害時に食べられるとホッとします。
- ・事業所が被災して使えなくなったときの一時的な生活の場はどうなるのか？公民館等使えるのか？考えておかなければいけないですね。

【改善計画】※後日記入

- 地域の方の参加のもと、年2回の火災避難訓練、年1回の炊き出し訓練を中心とした防災訓練を実施する。
- 運営推進会議や避難訓練の場で、事業所の防災計画、BCP（事業継続計画）を簡潔に伝える。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 浪漫	代表者	黒岩 尚文	法人・事業所の特徴	① 地域とのつながり（地域交流スペース、池田ベアすの解放と活用・自治会への加入と自治会活動への参加・ボランティア） ② 始良市認定「介護の相談 語らい処」の設置 ③ 子ども 110 番の家登録 ④ 始良っ子見守り隊参加 ⑤ 地域行事への参加 ⑥ ライフサポートプランの導入 ⑦ 認知症の人の、ひもときシートを活用したカンファレンス ⑧ 社会貢献活動の受け入れ ⑨ 体操教室の開催（3B 体操等） ⑩ 運営推進会議を毎月開催 ⑪ 住民協働のゴミ拾い活動（加治木ビューティフル作戦）・夕涼み会の開催 ⑫ 国分に同一法人の事業所があり、お互いに連携を図り刺激し合いながら実践を共有し合っている。職員交流も行っている。 ⑬ 企業連携による積み木づくりプロジェクト実施 ⑭ OffJT（IDO オンラインセミナー）OJT（事業所内研修）の連動した研修計画の実施 ⑮ 技能実習生の採用
事業所名	共生ホーム よかあんべ	管理者	荳口 淳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	8人	2人	1人	1人	2人	2人	0人	18人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	○1～9の改善計画と A～F の改善計画を一覧にして、運営推進会議で公表する。 ○改善計画の経過を会議メンバーに運営推進会議で報告できる。	・運営推進会議に全スタッフが参加することができていない。参加するスタッフは毎回決まってきた。そのため、改善計画の進捗状況を担当スタッフから報告することはできなかった。	・事業所一体となって課題に取り組んでいることがよくわかった。 ・評価メンバーと集計の数が違っているが？→会議の場には技能実習生も参加しており、一緒に検討をしているが、個人の評価シートの記入はできていないため違いがでていと回答する	○1～9の改善計画と A～F の改善計画を一覧にして、運営推進会議で公表する。 ○改善計画の経過を、担当スタッフが運営推進会議に参加して、会議メンバーに報告できる。
B. 事業所のしつらえ・環境	○運営推進会議を毎月池田ベアすで開催。 ○年1回事業所内に会議メンバーが入れる企画を検討実施。	・感染症蔓延等、特別な理由を除いては、運営推進会議を池田ベアすで開催できた。 ・事業所内に会議メンバーが入る	・3B体操で月に1回はお邪魔しますが、気になる匂いなどはない。椅子の位置とかも変えたりしてますね。	○事業所内に会議メンバーが入れる企画を検討実施。 ○防災訓練、運動教室などは継続して事業所内に運営推進会議

	<p>○防災訓練、運動教室、などは継続して事業所内に運営推進会議メンバーでもある地域の方が入れる機会にする。</p> <p>○床磨きなど日頃手がかけにくい場所は計画立てて実行する。</p>	<p>機会は火災避難訓練の1回だけであった。</p> <p>・月2回の体操教室では外部の指導者が入り、ご利用者が日常過ごされるリビングでの体操教室を開催できた。</p>	<p>・子どもたちがよく池田ベースに来ていますね。子どもたちに何か回覧をしたことで増えたのでしょうか？（口コミですとの返答に）自然に子どもたちが増えていってすごくいいことだと思う。</p>	<p>メンバーでもある地域の方が入れる機会にする。</p> <p>○不快な臭いの発生源ともなりうるゴミの廃棄やトイレの掃除は、気づいたスタッフがその時に対応し、室内の換気はこまめに実施する。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<p>○今年は自治会班長の任務もあるので、班長としての役割と共に職員やご利用者が地域行事に参加できるようにする。</p> <p>○池田ベースにて、運営推進会議、ビューティフル作戦、ワークショップ、等、地域の方が気軽に有効に活用できる場所づくりを行う。</p>	<p>・自治会班長の業務を遂行できた。これまでに増して地域の行事に参加したり、地域の方との交流の機会が増えた。</p> <p>・池田ベースを毎日開放することで学生の学習の場や、地域の方の休憩の場として活用していただいた。また、ドライフラワー、レザークラフトなどのワークショップの開催、合唱団や楽器の練習の場として地域の方の利用も増えた。</p> <p>・ビューティフル作戦は雨天のため中止。夕涼しい会は地域の方と実行委員会を立ち上げ、企画から運営を協力しながら開催。地域の子どもの参加も多くにぎわった。</p>	<p>・地域の輪（和）が大きく広がっていると思います。これからもいろいろな行事に全員で取り組んでください。</p> <p>・夏まつり（夕涼しい会）は人出も多く、特に子供たちがたくさんいることにびっくりしました。楽しい夜でした。今夏もよろしくお願ひします。</p> <p>・次の計画で、よかあんべの玄関にスタッフの写真を貼るとあったが、顔と名前がわかるのでぜひ見に行きたい。</p> <p>・月に1回3B体操に来ますが、90代のご利用者から「今からでも筋力がつきますね？」とおっしゃられ、その言葉に感動します。</p>	<p>○池田ベース入り口にはのれんを掲げ、夏は「涼み処」として地域の方が自由に出入りできるように開放する。</p> <p>○池田ベースで、毎月の運営推進会議、ワークショップ、音楽会など、よかあんべご利用者・スタッフと地域の方が一緒に楽しめる場づくりを行う。</p> <p>○夕涼み会、ビューティフル作戦が、地域の子どもから大人までが集うイベントとなるように、地域の方と一緒に計画・運営に取り組む。</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<p>○始良っ子見守り隊（スクールガード）は、ご利用者と共に交差点に立ち、子供たち、地域の方と挨拶を交わす。</p> <p>○地域の方が参加される池田ベースでの行事に、ご利用者と職員と一緒に参加する。</p>	<p>・4月から7月までは全スタッフで柁城小学校のスクールガードの活動ができた。地域に出向くことの少ないスタッフは、まだ地域の方と顔を合わせる機会も少なく、お互いに名前を呼んでの挨拶ができていないのが現状である。</p>	<p>・民生委員をしているが、地域の方のお宅を訪問してから亡くなられたことを知った。家族も伏せていたいという思いがあられたようだ。コロナ禍から繋がりが薄くなり、地域の方へ広まることも減ってきた。自治会の班内でさえ知らないことも増えましたね。</p> <p>・支え合いマップの講習会に参加した。支え合うことの学びになっている。</p>	<p>○始良っ子見守り隊（スクールガード）は、ご利用者と共に交差点に立ち、子供たちや地域の方と挨拶を交わしながら、安全を守る。</p> <p>○地域の方が参加される池田ベースでの運営推進会議や行事に、ご利用者と職員と一緒に参加する。</p>

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>○当会議に参加して下さるメンバーさんたちとテーマ共有するためにどのような議題設定ができるのか担当者と検討をする。</p> <p>○ご利用者の住まいの担当民生委員さんにお声掛けすることができる。</p> <p>○夕涼み会、ビューティフル作戦の継続。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議には、萩原自治会のご利用者がスタッフと一緒に参加できるようになってきた。ご利用者が参加されることで、会議メンバーさんからも声をかけてくださり、ご利用者も笑顔が増えたり、声に目を開けて反応される様子があった。 ・ご利用者がお住いの民生委員さんへは会議参加のお声かけができなかった。 ・運営推進会議を夕涼しい会やビューティフル作戦の実行委員会とし、地域の方と準備段階から話し合うことができた。夕涼しい会では道路の交通整理や受付、進行などを地域の方とスタッフが一緒になって実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の場に、10分でもいいのでスタッフが入り自己紹介をしたり、一言をいただくとスタッフの顔も見えてくるなど感じた。 ・（運営推進会議資料より現状報告を見て）要介護度が5の方が7名もいらっしゃるんですね。妻と同じくらいの方となると大変ですね。一人でも大変なのに、皆さんはどのような状態なのですか？→食事や排泄など生活のすべてにおいて介助が必要な状態の方もおられます。寝たきりではなく、日中はリクライニングの車椅子で過ごされます 	<p>○運営推進会議に参加して下さるメンバーさんたちとテーマ共有するためにどのような議題設定ができるのか担当者と検討をする。</p> <p>○会議テーマに応じて、必要な地域の方や事業所等の参加を促す声かけができ、新たなつながりができる。</p> <p>○運営推進会議の場が夕涼み会、ビューティフル作戦の実行委員会の機能を持ち、イベントを継続できる。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>○年間行事と合わせて防災計画を簡潔に伝える機会をつくる。</p> <p>○防災訓練には地域の方に参加をお願いすると共に、BCP（事業継続計画）も含めた避難訓練の企画を立案することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を交えた火災避難訓練を9月と3月に、炊き出し訓練を3月に開催できた。事業所のご利用者やスタッフの勤務体制、避難の状況などをお伝えする機会となったが、事業所の防災計画を書面でお渡しするなど、具体的な防災計画の説明はできていない。 ・実際、災害が起こったり、大規模な避難が必要になった場合には地域の方のご協力も必要になることもある。地域の方とともに防災訓練や具体的な避難の方法などの検討も今後必要になってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと一緒に炊き出し訓練ができるとまた楽しそうですね。 ・非常持ち出し袋（リュック）を持っている。定期的に期限が切れたものを交換もしている。レトルトカレーをリュックに入れておくといいですね。 ・サイゼックスに米を詰める作業はみんなで楽しくできた。実際に災害が起こった時も笑いながらできるといいですね。温かいものを災害時に食べられるとホッとします。 ・事業所が被災して使えなくなったときの一時的な生活の場はどうなるのか？公民館等使えるのか？考えておかなければいけないですね。 	<p>○地域の方の参加のもと、年2回の火災避難訓練、年1回の炊き出し訓練を中心とした防災訓練を実施する。</p> <p>○運営推進会議や避難訓練の場で、事業所の防災計画、BCP（事業継続計画）を簡潔に伝える。</p>